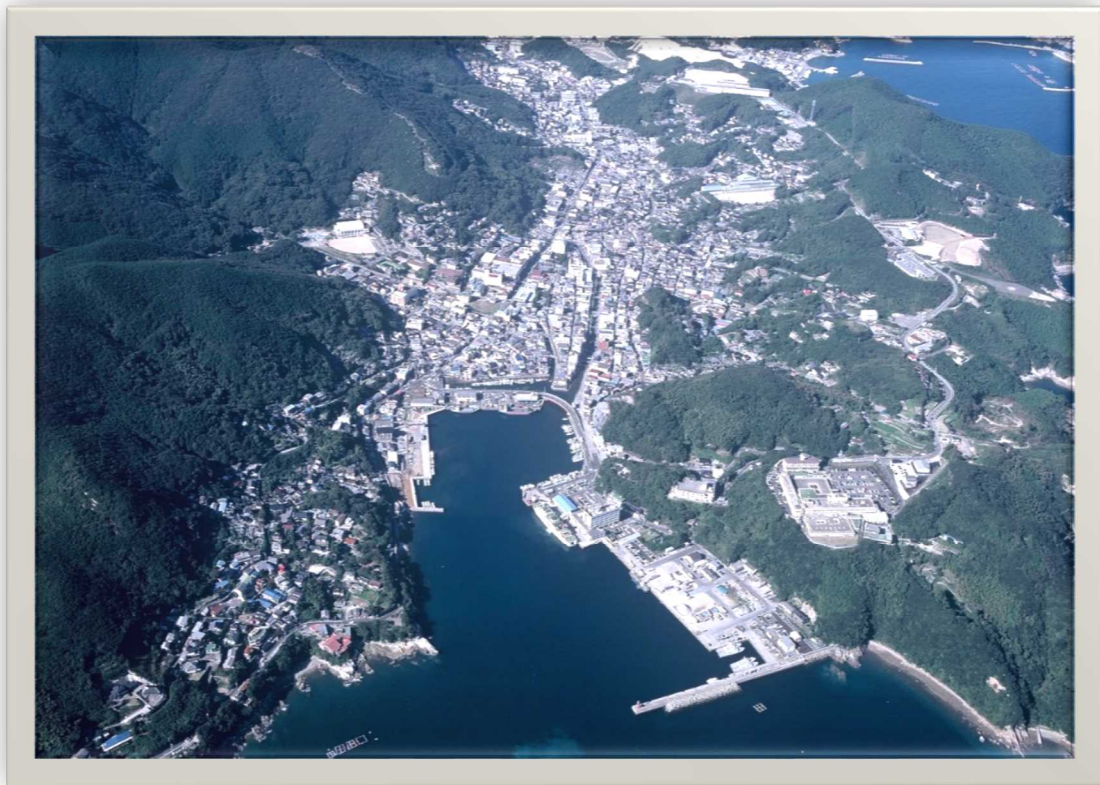


巖原小学校区 地域づくり計画書

～美しい「巖原城下町」を共に創り、共に歩く観光交流のまちづくり～



平成27年7月策定

目次

1. はじめに	1
2. 概要	2
①人口	3
②公共的施設と地域資源	6
③主なイベント	10
④活動状況	12
3. 現状と課題	16
4. 取り組み方針	20
5. 巖原小学校区地域づくり計画	24
6. 地域づくり計画の推進方法	30
7. おわりに	31

1. はじめに

地域づくり計画とは

本格的な地方分権の時代を迎えた今、地方自治体は自らの判断と責任により、地域の実情に沿った行政を展開していくことが大いに期待されています。

一方、地域においても、これまでの行政主体の地域づくりから、住民ひとり一人が主体として、責任ある自らの意思に基づき行動し、課題を解決していく意識を高めていくことが求められています。

このため、自らの地域は自らの手で築いていくことを市と地域の共通認識とし、それぞれの地域に即した協働のまちづくりの将来計画である「地域づくり計画」を策定するものです。

巖原小学校区における地域づくり計画

巖原小学校区については、北は阿須地区から南は久田道西里地区までの計12地区で構成されており、各地区は道路の老朽化、ゴミの不法投棄及び若者高齢化など、多くの共通の課題を有しています。

このため、各地区が抱える個別課題への取り組みだけでなく、共通課題の共有化、取り組みの効率化を図るため、巖原小学校区全体で地域づくり計画を策定しました。



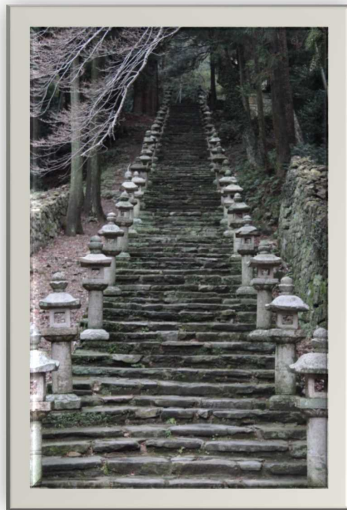
地域づくり計画策定ワークショップの様子

2. 概要

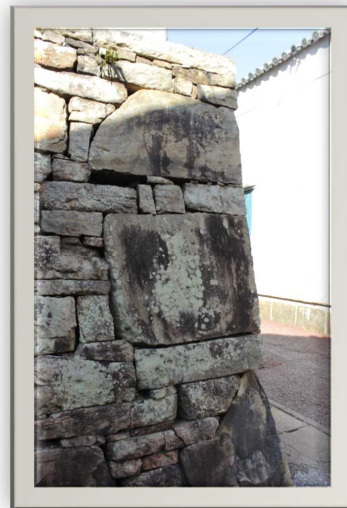
私たちが暮らす厳原地区は、対馬の南部に位置し、古くは国内外の港町として栄え、また藩政時代は宗家十萬石の格式を持つ城下町として九州でも屈指の都市が形成されていました。

明治以降は、国や県の行政機関、交通ターミナル等が隣立し、昭和中期には漁業基地として賑わいを呈し、長年対馬の政治経済の中心地として栄えてきました。

また、国指定文化財である対馬藩主宗家墓所(万松院)、金石城跡、清水山城跡、旧金石城庭園を有し、武家屋敷や石垣などの街並みを残す歴史と文化の香りが漂うまちです。



万松院の石段



今屋敷の防火壁

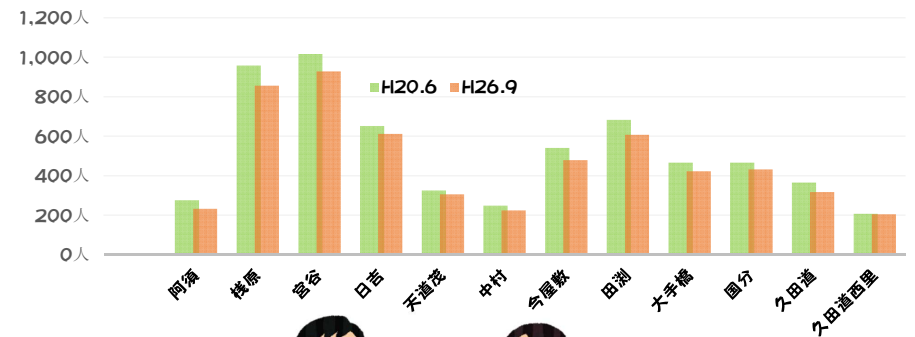
①人口

・校区内の人口の推移

校区内の人口については平成20年から平成26年までの6年間で9.4%(584人)の減となっています。

減少率が一番大きい地区は阿須で15.9%(44人)の減、一方で減少率が小さい地区は久田道西里で1.0%(2人)の減となっています。

地区	平成20年6月30日現在			平成26年9月30日現在			増減率
	男	女	計	男	女	計	
阿須	138	138	276	122	110	232	△15.9%
棧原	537	421	958	476	380	856	△10.6%
宮谷	510	506	1,016	491	437	928	△8.7%
日吉	320	332	652	291	321	612	△6.1%
天道茂	134	191	325	139	167	306	△5.8%
中村	122	126	248	106	118	224	△9.7%
今屋敷	249	291	540	222	256	478	△11.5%
田淵	285	398	683	267	340	607	△11.1%
大手橋	219	247	466	198	224	422	△9.4%
国分	207	259	466	196	235	431	△7.5%
久田道	177	188	365	148	169	317	△13.2%
久田道西里	105	102	207	102	103	205	△1.0%
計	3,003	3,199	6,202	2,758	2,860	5,618	△9.4%

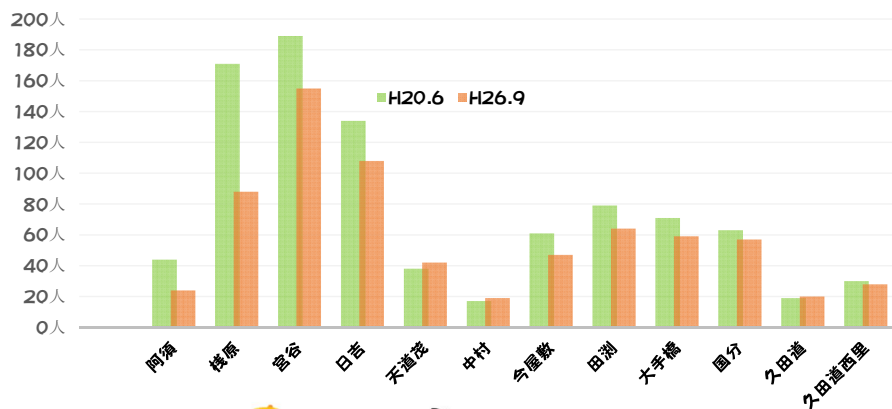


・15歳未満の人口

6年間で22.4% (205人)の減となっており、多くの地区は減少していますが、天道茂、中村、久田道については増加しています。

地区の人口に占める割合が大きい地区は日吉で17.6% (612人のうち108人)、一方小さい地区は久田道で6.3% (317人のうち20人)となっています。

地区	平成 20年6月30日現在				平成 26年9月30日現在				増減率
	男	女	計	構成比	男	女	計	構成比	
阿 須	22	22	44	15.9%	15	9	24	10.3%	△45.5%
榎 原	92	79	171	17.8%	40	48	88	10.3%	△48.5%
宮 谷	96	93	189	18.6%	85	70	155	16.7%	△18.0%
日 吉	72	62	134	20.6%	57	51	108	17.6%	△19.4%
天 道 茂	13	25	38	11.7%	16	26	42	13.7%	10.5%
中 村	11	6	17	6.9%	14	5	19	8.5%	11.8%
今 屋 敷	36	25	61	11.3%	32	15	47	9.8%	△23.0%
田 淵	34	45	79	11.6%	34	30	64	10.5%	△19.0%
大 手 橋	34	37	71	15.2%	31	28	59	14.0%	△16.9%
国 分	21	42	63	13.5%	31	26	57	13.2%	△9.5%
久 田 道	12	7	19	5.2%	12	8	20	6.3%	5.3%
久田道西里	19	11	30	14.5%	17	11	28	13.7%	△6.7%
計	462	454	916	14.8%	384	327	711	12.7%	△22.4%



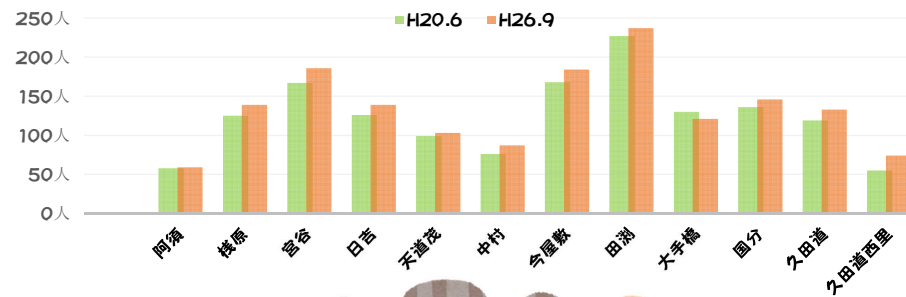
・65歳以上の人口

校区内の人口は減っていくなか、65歳以上の人口については6年間で8.2% (122人)の増となっています。

大手橋を除くすべての地区で増加していますが、増加率が著しく大きい地区は久田道西里で34.5% (19人)の増となっており、次いで中村の14.5% (11人)の増となっています。

地区の人口に占める割合が大きい地区は久田道で42.0% (317人のうち133人)、一方小さい地区は榎原で16.2% (856人のうち139人)となっています。

地区	平成 20年6月30日現在				平成 26年9月30日現在				増減率
	男	女	計	構成比	男	女	計	構成比	
阿 須	22	36	58	21.0%	23	36	59	25.4%	1.7%
榎 原	53	72	125	13.0%	54	85	139	16.2%	11.2%
宮 谷	76	91	167	16.4%	78	108	186	20.0%	11.4%
日 吉	55	71	126	19.3%	49	90	139	22.7%	10.3%
天 道 茂	34	65	99	30.5%	39	64	103	33.7%	4.0%
中 村	27	49	76	30.6%	31	56	87	38.8%	14.5%
今 屋 敷	68	100	168	31.1%	77	107	184	38.5%	9.5%
田 淵	78	149	227	33.2%	75	162	237	39.0%	4.4%
大 手 橋	55	75	130	27.9%	43	78	121	28.7%	△6.9%
国 分	51	85	136	29.2%	61	85	146	33.9%	7.4%
久 田 道	51	68	119	32.6%	55	78	133	42.0%	11.8%
久田道西里	24	31	55	26.6%	35	39	74	36.1%	34.5%
計	594	892	1,486	24.0%	620	988	1,608	28.6%	8.2%



②公共的施設と地域資源

本地区には数多くの公共的施設が存在し、それぞれの役割を担っていますが、近年、市民の二また、大陸と日本を結ぶ交通の要衝で、古来歴史的にも文化的にも重要な位置を占めてきたでもあります。

地区	主な公共的施設	主な市民活動団体 (事務局等所在地)	観光資源
阿 須	・阿須湾漁協		・窯業原料
棧 原	・厳原中学校 ・厳原税務署 ・藩校日新館武道場 ・陸上自衛隊		・上見坂公園 ・棧原城跡
宮 谷	・対馬振興局 ・親愛子ども園 ・対馬市社会福祉協議会 ・厳原支所		・藩校小学校跡地 ・日吉台公園 ・武家屋敷通り
日 吉	・対馬高等学校 ・厳原幼稚園	・フリースペース みちるべ	・長寿院 ・旧以町庵跡 ・武家屋敷通り
天 道 茂	・厳原小学校	・地域で子育てを楽しむ会	・時鐘堂跡 ・武家屋敷通り
中 村	・対馬南警察署 ・対馬農協 ・半井桃水館 ・ハローワーク対馬 ・厳原簡易裁判所	・NPO対馬郷宿	・厳原八幡宮 ・武家屋敷通り

一ズは多岐に渡ってきており、市民と行政、市民活動団体の協働が重要となってきています。本地区は、重要な文化財が数多く残っており、日本全体の交流と推移の歴史を通観できる地

指定文化財・天然記念物			景観資産
国指定	県指定	市指定	
	・阿須川のアキマドホテル 生息地		
	・旧日新館門		・源泉混々
		・対馬振興局の長屋門	
		・雨森芳洲の墓(長寿院) ・松浦霞沼の墓(長寿院) ・棧原城跡の高麗門	・棧原城跡の高麗門
		・国分寺の木造薬師仏 ・国分寺の山門	
	・太平寺の梵鐘 ・太平寺の木造地藏菩薩 坐像	・紫裾濃糸絨胴丸 ・高崎絵絵馬 ・高崎絵三十六歌仙額	・中村地区武家 屋敷通り



日新館門(棧原)



対馬振興局の長屋門(宮谷)



棧原城跡の高麗門(日吉)



半井桃水館(中村)

地 区	主な公共的施設	主な市民活動団体 (事務局等所在地)	観光資源
今 屋 敷	<ul style="list-style-type: none"> ・対馬市交流センター (厳原地区公民館) ・長崎県立歴史民俗資料館 ・対馬観光物産協会 ・ふれあい処つしま ・厳原体育館 	<ul style="list-style-type: none"> ・対馬観光ガイドの会 ・やんこも 	<ul style="list-style-type: none"> ・土蔵群 ・漂屋屋跡 ・有明山(トレッキング) ・清水山城跡(トレッキング) ・今屋敷公園
田 淵	<ul style="list-style-type: none"> ・南保育園 ・対馬真珠養殖漁協 		<ul style="list-style-type: none"> ・漁り火公園 ・客館 和陽館(国分寺)
大 手 橋	<ul style="list-style-type: none"> ・合同庁舎 ・厳原港ターミナル 	<ul style="list-style-type: none"> ・対馬次世代協議会 (コノソレ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・土蔵群 ・立亀岩 ・防火壁
国 分	<ul style="list-style-type: none"> ・対馬市役所 	<ul style="list-style-type: none"> ・朝鮮通信使縁地連絡協議会 ・万松院保存会 ・朝鮮通信使行列振興会 	<ul style="list-style-type: none"> ・中矢来
久 田 道			<ul style="list-style-type: none"> ・防火壁 ・志賀の鼻公園
久田道西里	<ul style="list-style-type: none"> ・厳原町漁協 		<ul style="list-style-type: none"> ・志賀の鼻大橋周辺



旧金石城庭園(今屋敷)

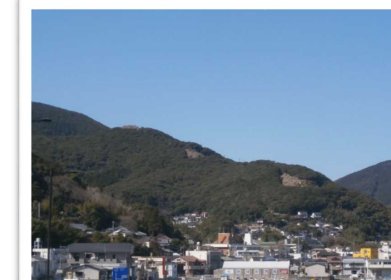


金石城跡(今屋敷)

指定文化財・天然記念物			景観資産
国指定	県指定	市指定	
<ul style="list-style-type: none"> ・旧清玄寺梵鐘 ・清水山城跡 ・金石城跡 ・旧金石城庭園 ・朝鮮国告身 ・高麗版大般若経 ・小田家文書(四十八通) ・対馬宗家関係資料 	<ul style="list-style-type: none"> ・今屋敷の防火壁 ・醜泉院の涅槃図 ・醜泉院の釈迦十六善神図 ・朝鮮国信使絵巻 ・朝鮮国告身(小野家伝来) 	<ul style="list-style-type: none"> ・薬師如来立像 ・金石城跡出土李朝瓦 ・1881年朝鮮国礼曹参議金履載書契 ・朝鮮通信使馬上才図鑑 	<ul style="list-style-type: none"> ・佐野屋橋
		<ul style="list-style-type: none"> ・陶山訥庵の墓(修善寺) 	<ul style="list-style-type: none"> ・日下家・江崎家防火壁
<ul style="list-style-type: none"> ・対馬藩主宗家墓所 	<ul style="list-style-type: none"> ・万松院の大スギ 	<ul style="list-style-type: none"> ・万松院の三具足 ・万松院の金銅観音菩薩半跏像 ・万松院の絹本着色肖像図(宗義智公・徳川家康公・宗義成公) ・万松院の宗義眞公肖像画 ・保床山古墳出土一括遺物 	<ul style="list-style-type: none"> ・村瀬家土蔵
		<ul style="list-style-type: none"> ・賀嶋恕軒の墓(海岸寺) 	



金石城跡出土李朝瓦(今屋敷)



清水山城跡(今屋敷)

③主なイベント

古い歴史と伝統をもち代々受け継がれている祭事から、近年から開催され盛り上がりを見せて

いる行事まで、本地区では様々なイベントが開催されています。

対馬 厳原 港まつり

対馬の夏を代表するイベントで、毎年8月の第1土曜日、日曜日に開催され、朝鮮通信使行列の再現パレードや、地域の方々による舞台演芸・韓国舞踊団等が披露されます。

その他、舟グロー、子供みこしなどの様々なイベントが行われ、最後は納涼花火大会で締めくくります。



厳原 八幡宮 大祭

厳原八幡宮は木坂の海神社とならび神功皇后の新羅征伐凱旋時の伝承を持つ八幡宮の発祥に深く関わる神社で、厳原市街地の中央に位置しています。

毎年旧暦8月15日に放生会が行われ、神幸式の時は町中が見物人で賑います。



地蔵 盆

古くから伝承される行事で、子供の安全と成長を願う祭事です。

地藏菩薩が子供の守護仏であることに由来するもので、毎年7月24日に厳原地区内にある着飾った30数ヶ所の地藏様が盆提灯でライトアップされ子供たちを出迎えます。



対馬 アートファンタジア

平成23年から開催されており、国内外の現代アーティストたちが、対馬の自然と歴史と文化に触れて得たインスピレーションを表現した作品が、厳原市街地の寺院や古民家などに展示されます。

現代アートを介した新たな文化交流及びまちづくりのかたちに注目が集まっています。

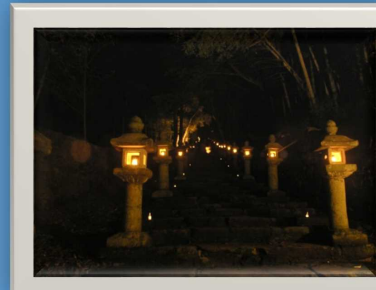


万松院 まつり

日本三大墓地の一つである万松院では、1年に一度、350基の灯籠に明かりを灯し、御霊をお祭りします。

闇に浮かぶ無数の灯籠が、幻想的な幽玄の世界を醸し出します。

山門前で提灯を受け取り、夕闇の宗家墓所を参拝することができます。



新春城下町ロードレース大会

今年で22回目を迎えた、清水山城跡の麓にある清水ヶ丘グラウンドをスタート・ゴール地点とするロードレースです。

沿道に詰めかけた観客の声援を受けて、小中学生が元気いっぱいに新春の城下町を駆け抜けます。



④活動状況

巖原小学校区では、通常それぞれの地区が個別に活動を実施しています。各地区の活動状況

地 区	活 動 状 況
阿 須	<p>交流人口を増やすために、まず地区の交流からということで、夏休みにラジオ体操をおこなっている。</p> <p>今後は、地域資源を生かした地域づくりを進め、観光などによる交流人口の増加に努めたい。</p> <p>通学路の確保や河川の整備については、財政的に困難な問題があるが、子ども達や高齢者にやさしい安全・安心のまちづくりのため、今後も要望していきたい。</p>
棧 原	<p>○環境美化活動 現在、老人クラブ、子ども育成会、陸上自衛隊などを中心に区民の参加を促し、2ヶ月に1回清掃活動を実施している。</p> <p>○スポーツ大会 11月中旬にグランドゴルフ大会を実施している。</p>
宮 谷	<p>○地区内交流グランドゴルフ大会 地区内の区民の交流と親睦を図るため、年1回開催している。</p> <p>○地区内環境整備事業 春の町民大清掃は、もちろんのこと本地区は、秋(10月)においても、地区内の大清掃を実施している。特に、道路や河川等を中心に行っている。</p> <p>○年末餅つき大会(子ども育成会主催) 年末に地区内の子供たちを主役とした餅つき大会を実施している。つきあがった紅白の餅は、子どもたちが歩いて地区内の70歳以上の高齢者宅を訪問し手渡し、笑顔交流を行っている。</p>



年末餅つき大会(宮谷)

については次の通りです。

地 区	活 動 状 況
日 吉	<p>平成21年度から日吉地区が主催となり、「芳洲先生の事績を偲ぶ会(芳洲会)」を開催している。行事の内容は、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 法要、墓参 2. 講話「芳洲先生について」 3. 史跡巡り 4. 芳洲カルタ取り大会 5. 芳洲杯「三世代交流グランドゴルフ大会」
天 道 茂	<p>6月…町内大清掃 8月…子供みこし(対馬巖原港まつり) 9月…敬老行事 10月…グランドゴルフ大会</p>
中 村	<p>高齢化が進んでおり、子供は少なくなっているが、子供会の活動に取り組んでいる。</p> <p>また、老人会「のぞみの会」を中心に、月1回町内の清掃活動を行っている。</p>
今 屋 敷	<p>4月…地区総会、池神社まつり(旧暦3月11日) 6月…町内大清掃 7月…地藏まつり 8月…子供みこし(対馬巖原港まつり) 9月…敬老行事 12月…正月松飾り配付</p> <p>地区の範囲は広く、集まる機会は少ないが平成22年に老人クラブが結成され、集会の場のひとつになっている。</p> <p>観光客が多く回遊する地域が多いため清掃活動にも気をつけており、老人クラブによる週3回の今屋敷公園の清掃、その他川端通り、池神社は日頃より付近住民による清掃がなされ、また外国人利用の多い三の丸登り口までの道の整備や清掃に気をつけている。</p>



芳洲カルタとり大会(日吉)

地 区	活 動 状 況
田 淵	昔と比べると住民の入れ替わりが激しく、住民間のつきあいが希薄になってきており、各行事や会議への参加についても協力が少なくなってきた。 そのような中、グランドゴルフ大会の開催や対馬厳原港まつりの子供みこしの参加等の活動を実施している。
大 手 橋	1月…敬老行事 4月…地区総会、敬老行事、金比羅神社春の大祭 5月…お稲荷様、住吉神社大祭 6月…町内大清掃 8月…子供みこし(対馬厳原港まつり) 10月…伊勢宮神社大祭 11月…金比羅神社秋の大祭
国 分	4月…総会(班長以下区民参加) 6月…区民懇談会(地域マネージャー制度説明等) 町民大清掃への参加(南岳稲荷神社の清掃も実施) 7月…地藏盆 8月…子どもクラブ対馬厳原港まつりへの参加 水泳大会(バーベキューも実施) 9月…敬老の日(記念品としてお茶を配布) 2月…南岳稲荷神社祭
久 田 道	三世代参加によるグランドゴルフ大会や恵比寿神社大祭を行い、地区住民相互の交流・親睦を図るとともに、「環境実践モデル地区」を目指し、環境美化委員会を設置して以下の活動に取り組んでいる。 ○環境美化委員会の取り組み ・地区独自の秋季一斉清掃活動 ・生ゴミ、廃食油資源再利用システム実践事業 ・不法投棄看板設置 ・2ヶ月に1回の道路・公園等の清掃作業(男性部) ・EM ポカシづくり、EM 団子づくり・投入(女性部)



EM ポカシづくり(久田道)

地 区	活 動 状 況
久田道西里	年1回の大掃除には、ほとんどの住民が積極的に参加し、協力して汗を流している。また、地区では、老人クラブの活動が活発で、引きこもりのお年寄りをつくらぬよう、一年を通してきめ細やかな運営がなされている。今後は、レクリエーション等での住民交流も望まれる。 ・4月…地区総会 ・6月…地区大清掃 ・9月…敬老会行事 ・年3回班長会議、年2～3回地域マネージャー連絡会議 <老人クラブ> 週3回グランドゴルフ練習、年3回公民館周辺の清掃活動 老人クラブ社会奉仕活動(道路清掃、10月)

3. 現状と課題

道 路

- ・地区内を国道382号線が通っているため、ドライバーの利便性は高い一方で、場所によっては十分な歩道が確保されていないため、歩行者、特に通学中の児童・生徒及び高齢者にとっては危険を感じることがあります。
- ・地区内の市道は老朽化が著しい箇所、カーブミラーの設置が無く見通しの悪い交差点及び蓋が破損しているままの側溝等が多数存在している状況です。



河 川

- ・地区内を巖原本川が流れており、住民の生活と河川は密接な関係がありますが、過去に大雨の際に氾濫した経緯があるため、万一の際に向けた対策が必要となります。
- ・台所や風呂など日常生活の営みから出される生活排水が、河川にそのまま流れているため、水質汚染につながる恐れがあります。



防災・防犯

- ・地区内の山間部の住宅が密集している地域においては、万一の火災発生時に水利の確保ができていないため防火水槽の設置が急務と言えます。
- ・地区内には入り組んだ路地が多数ありますが、防犯灯が未設置の箇所については、夕方になると歩行に支障をきたしており大変危険な状況です。



環 境

- ・市内で一斉に行われるクリーンアップ作戦において、地区内の共用部分の清掃を実施していますが、地区によっては独自で秋に清掃を実施しています。
- ・近年、ゴミのポイ捨てや粗大ゴミの不法投棄が後を絶たず、近隣の住民は苦慮しているところです。
- ・飼い主のマナー違反による、ペットの放し飼いや散歩の際の糞の後始末の悪さが目立っています。
- ・人口の減少に伴い、空き家が増えたことにより、放置家屋が景観を損ねている状況です。



観 光

- ・本地区は城下町として栄えた歴史が有り、日本でも有数の文化財が多く残っていますが、PR 不足の感もありその魅力を活かしきれいていません。また、未だクローズアップされること無く、眠ったままの観光資源も数多く存在しています。
- ・厳原港-釜山港間の定期船航路開設以降、多くの韓国人観光客が対馬を訪れるようになりましたが、宿泊施設が不足しており受け入れ体制が十分でない、観光案内板が十分に整備されていない、韓国人観光客のマナーなど問題点も出てきています。



医 療

- ・本年5月に対馬いづはら病院と中対馬病院の再編統合により、対馬病院が誕生したことに伴い、厳原地区には入院機能のある病院がなくなってしまいました。対馬いづはら病院跡地を利用し、医療・介護などを包括したシステムを有する施設の建設が計画されていますが、現状においては、これまで対馬いづはら病院に通院していた住民は、美津島町までの通院を余儀なくされ大きな負担となっています。



自治活動

- ・少子高齢化の影響により、各地区の子ども育成会の積極的な活動が難しくなっています。
- ・若年層の自治活動への関心が薄く、集会等を開いても十数年前から同じ顔ぶれしか集まらない状況が続いています。また集会施設を持たない地区があり集会を開く場所についても苦慮している状況です。



4.取り組み方針

各地区が抱える課題については次のとおり取り組みます。

地 区	取 り 組 み 方 針
阿 須	<p>「清潔でゴミを出さないまちづくり」</p> <p>EM菌を効果的に活用した生活排水の水質浄化や生ごみの堆肥化、河川の浄化に努めていきたい。阿須川は、アキマドボタルが生息する環境でもあり、環境負荷を減らすことは、文化的見地からも大切なことである。</p> <p>EM菌講習会参加経験者を中心として、地区内で取り組みの輪を広げていきたい。</p> <p>また、地区内の環境美化を推進するため、清掃体制づくりに取り組んでいきたい。</p>
棧 原	<p>棧原地区は、市営団地や公務員住宅、自衛隊の駐屯地等により形成されている特殊な地域である。市営団地等では、これまで全く交流がないため、地区行事等への参加も皆無であり、地域のリーダー養成からはじめていく必要がある。</p> <p>ただ、最近実施した清掃活動には、高齢者や子ども達の積極的な参加もあり、今後は、この取り組みを契機に、区民参加のコミュニケーションの場を広げていきたい。</p> <p>また、役員の醸成を図るとともに、青年婦人部の活動の場を広げるため、組織づくりを進めていきたい。</p>
宮 谷	<p>宮谷地区は、城下町の風情を醸し出す武家屋敷跡が数多く残っており、現在、武家屋敷に相応しい門構えを持つ（仮称）宮谷広場の建設が進められている。</p> <p>市民や観光客がゆっくりと散策できる道路づくりが必要であることから、今後石垣や石堀の保存について、地区を挙げて取り組んでいくとともに、厳原本川の改修や裏宮谷通りの歩道の設置などについても、引き続き、要望活動を行っていきたい。</p> <p>また、子ども達の通学路や散策観光コースを意識しての環境美化活動にも精力的に取り組んでいきたい。</p>

地 区	取 り 組 み 方 針
日 吉	<p>日吉地区には、偉大な先人「雨森芳洲」が眠る墓所（長寿院）があることから、地区住民がこの歴史的偉人を学び、地域ぐるみで顕彰することで、特色ある地域行事の定着を図り、この行事を通じて、地区住民が気楽にふれあえる地域づくり、子ども、お年寄りにやさしい地域づくりを目指したい。</p> <p>また、本地区は、小学校・高等学校の通学路となっており、地区として子ども達が安心・安全に登下校できるよう、環境整備の促進に取り組んでいきたい。</p>
天 道 茂	<p>天道茂地区には、小学校があることから、子どもたちの通学路の安全対策に配慮した道路の改善など安全・安心の地域づくりに取り組んでいきたい。</p> <p>また、地区内には高齢者も多く、高齢者の健康づくりや住民の交流を目的としたグランドゴルフ大会などの開催を計画していきたい。</p> <p>なお、地区内にある国分寺は、観光客の観光コースになっていることから、連続したお寺も含めた散策ルートが可能となるような施策がとれないものか、地区でも話し合ってみよう。</p>
中 村	<p>中心市街地に隣接する中村地区では、地区内に残る武家屋敷など当時の貴重な財産を生かした中村街並み環境整備事業も完了し、美しい町並み空間を形成している。</p> <p>一方、地区内では少子高齢化がすすんでいるが、子供会の活動や老人会「のぞみの会」が中心となり行われている、月1回の定期的な清掃活動に取り組んでいる。</p> <p>これからは、大歳神社の祭りを地域全体で支援し盛り上げていくことと、地区内の中核施設である「半井桃水館」の事業に対して、地域を挙げて参画していくことの2つを大きな柱として取り組んでいきたい。</p>

地 区	取 り 組 み 方 針
今 屋 敷	<p>今屋敷地区は、下馬場筋通り、西川端通り、横町通りで代表されるように、厳原の中心市街地に位置している。商店、金融機関、医療機関が住宅と混在する一方、金石城跡、武家屋敷の石堀、石垣が残っており、歴史的な面影を留めている。</p> <p>本地区は、これから子供会などの活性化及び老人会の結成を通じて、地区住民相互の交流の機会を増やし、快適な生活、魅力的なまちづくりを目指していきたい。</p> <p>その活動として、観光客も多く行き交う西川端通りのプランター整備、金石川のホタルの保護、池神社の祭り等伝統行事への協力などの取り組みを展開していきたい。</p>
田 淵	<p>田淵地区には、観光道路、漁火公園があり、休日には親子連れなど市民の憩いの場となっており、それらの環境整備に力を入れたい。</p> <p>また、地区内に道路の陥没・破損箇所が多数あるので、そのうち、地区の方で修復できるものについては、修復を行いたい。</p> <p>また、年1・2回の雑草除去を行うなど、その他の環境美化にも努めていきたい。</p>
大 手 橋	<p>大手橋地区は、夜の繁華街を抱えているのと、地理的に便利なため、他地区からの移住者が増えているのが特徴といえる。</p> <p>居住区は川端から野良方面へと広がるため、住民同士の連携がとりにくいのが悩みの一つである。</p> <p>また、地区内には金比羅神社をはじめお伊勢様、住吉様、お稲荷様と4つの神社があるが、地区民の神事への関心は極めて低く、祭事への参加は少ない。</p> <p>このため、地域住民のふれ合い、助け合いの場を広め、高齢者にも子どもたちにもやさしいまちづくりをめざし、全体の協働活動の輪を広げて行くよう努めていきたい。</p>

地 区	取 り 組 み 方 針
国 分	<p>かつて商業地としてにぎわっていた国分地区としては、そのなごりである南岳稲荷神社の整備保存に取り組みたい。</p> <p>その中で子どもたちが遊べる遊具等も設置し、交流の場としての機能を持たせられればよいと思う。</p> <p>また、清掃活動を定期的に行うとともに、大町通りを中心として、花いっぱい運動に取り組み、明るいまちづくりを目指していきたい。</p> <p>その他、区民に地域マネージャー制度を広く浸透させるため、役員だけではなく、多くの区民が参加できる地区懇談会などの話し合いの場を増やし、制度への理解と関心を深めていきたい。</p> <p>また、その中で区民の方の意見や考えを聴き、今後の地区の活動に繋げていきたい。</p>
久 田 道	<p>久田道地区は、厳原港に面した丘陵地に住宅街が形成されているが、道路は幅員が狭小で、急勾配であり、防火水槽や消火栓も少ない。</p> <p>このため生活基盤整備が必要であるが、規模が大きく行政に頼らざるを得ない状況である。</p> <p>地区としては三世代交流グランドゴルフ大会や恵比寿神社大祭を通して住民相互の交流を図っていくとともに、環境美化委員会による定期的な道路・公園の清掃作業、EM菌を活用した河川、海の浄化に取り組んでいきたい。</p> <p>また、臨港道路の開設に伴い、ヒト、モノの動きの変化に対応し、市と協議して道路背後地を活用した地域の振興を進めていきたい。</p>
久田道西里	<p>久田道西里地区は、中心市街地の周辺部にあたり、山里にも近い住宅地域である。</p> <p>大きくは、新興住宅地と昔からの漁業集落(春田屋敷)に分かれる。広範囲にわたるため、防災や地域のコミュニケーション不足に問題を抱えている。また、県道沿いの空き缶の投げ捨てが後を絶たない現状もある。</p> <p>地区としては、丘陵地の住宅の防火対策として、消火栓の設置に向けての取り組みや、「ここち良い地域づくり」を目指して、沿道の清掃を輪番で実施していきたい。</p> <p>また、活動が活発な老人クラブを中心に、世代間交流と地域住民の交流を目的としたグランドゴルフ大会の開催に向けて取り組んでいきたい。</p>

5. 巖原小学校区地域づくり計画

巖原小学校区においては、～美しい「巖原城下町」を共に創り、共に歩く観光交流のある巖原地区にするため、「笑顔がいっぱいの安全・安心なまちづくり」「チョコボラ源を活用した観光交流のまちづくり」の3つの主要施策を「まちづくり3本の柱」として、各項目の達成目標期間の目安は、短期・・・1～5年 中期・・・6年～10年 長期・・・継続

笑顔がいっぱいの 安全・安心なまちづくり

- 子ども達の通学路の安全対策に配慮した交通安全や道路の改善など、人にやさしい道路施策の推進について地域ぐるみで取り組みます。
- 城下町の景観や自然環境に配慮した歩行者にやさしい道路空間整備に積極的に参加していきます。
- 子ども達や高齢者の安全を含めて、地域ぐるみの防犯対策を強化します。
- 洪水などの大きな被害を防ぐため、河川の改修整備にも関心をもち取り組みます。

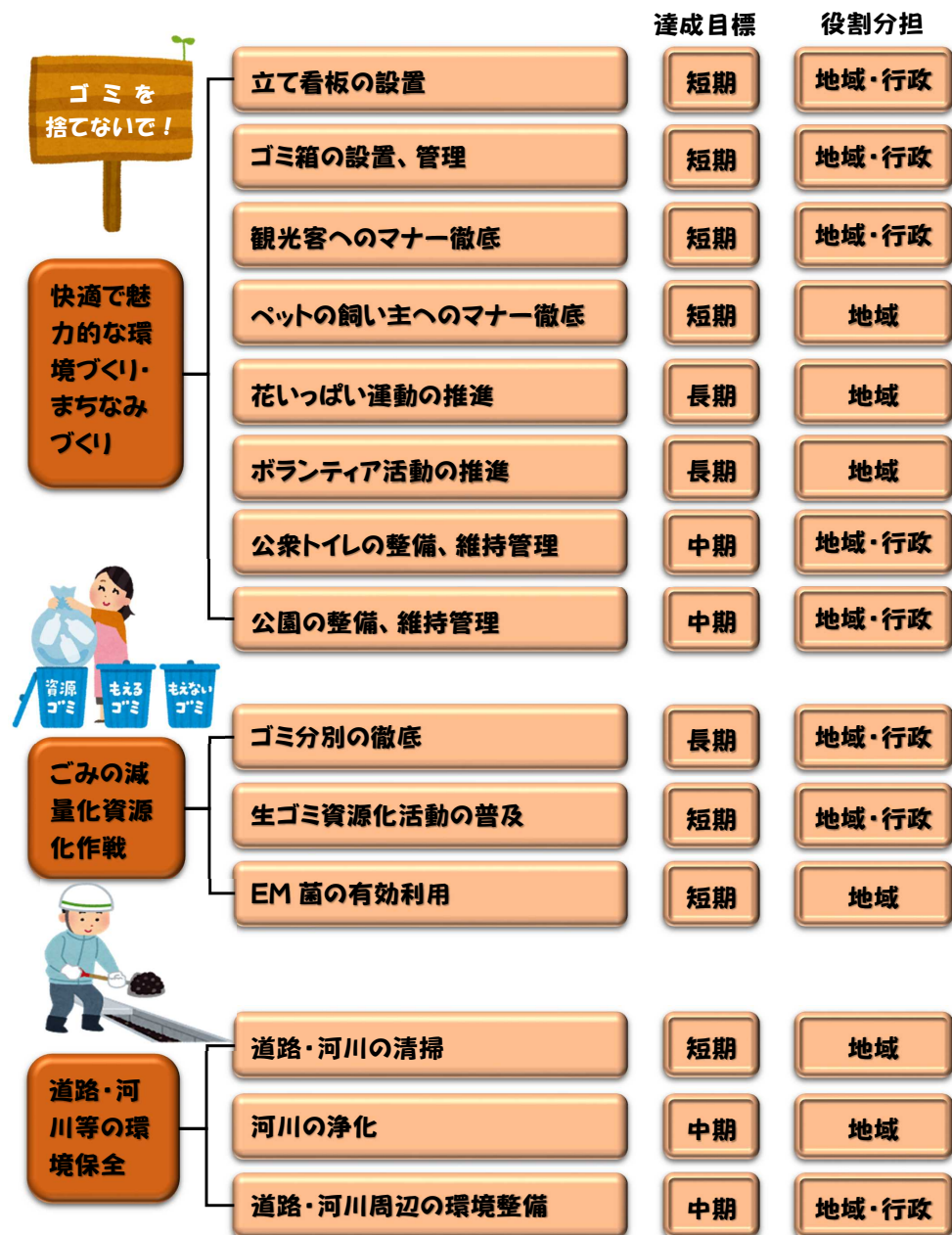
まちづくり～をテーマに、市民と行政が一体となって心が安らぎみんなが笑顔で暮らせる賑わい(ちよこっとボランティア)活動によるまちづくり」「固有の歴史文化と独自の地域資源を活用した観光交流のまちづくり」の3つの主要施策を「まちづくり3本の柱」として、各項目の達成目標期間の目安は、短期・・・1～5年 中期・・・6年～10年 長期・・・継続

	達成目標	役割分担
 地域内の道路・河川整備	道路拡幅整備	中期 行政
	交通安全施設の設置	中期 地域・行政
	河川の護岸整備	中期 行政
	側溝の整備	短期 地域・行政
 防災・防犯対策	避難所の位置と避難経路の周知	短期 地域・行政
	災害危険箇所の周知	短期 地域・行政
	街路灯、防犯灯の整備	短期 地域・行政
	防火水槽・消火栓の設置	短期 行政
 生活環境の改善	子ども110番の家の増設	短期 地域
	路線バスの運行工夫	短期 地域・行政
	スクールバスの有効活用	短期 地域・行政
	医療体制の充実	短期 行政
	子供が安心して遊べる場の提供	中期 地域・行政

チョコボラ (ちょこっとボランティア)

活動によるまちづくり

- 快適で魅力的な城下町の街並みを保全するため、道路、河川の清掃活動に積極的に参加します。
- ごみの減量化、分別を徹底し、リサイクル意識の向上を図り、ごみを出さないよう努めます。
- 家庭からの排水が河川などの環境に影響を与えていることを自覚し、洗剤や食油の使用などについて、生活排水による環境負荷を減らすよう努めます。
- EM菌の効果的な活用を推進し、生活排水の水質浄化や生ごみの堆肥化、河川の浄化に取り組みます。
- 豊かな自然環境を守り育てるとともに、潤いと安らぎのあるまちづくりに努めます。
- 小・中学生のボランティア活動への参加を促進します。



固有の歴史文化と

独自の地域資源を活用した

観光交流のまちづくり

- 固有の歴史文化を発信・継承し、地域資源を活かした祭りイベントを企画するとともに、地域ぐるみの参加協力を行います。
- 対馬市交流センターを拠点として開催される文化交流イベント等に積極的に参加するとともに、生涯学習の拠点としてその活用に努めます。
- 武家屋敷や石垣、数多くの文化財などの地域資源の活用・掘り起こしを積極的に行い、住民ひとり一人が観光案内人になれるよう発信に努めていきます。
- 生活利便性の向上と歴史的な街並みとが調和したまちづくりに地域ぐるみで取り組みます。



6.地域づくり計画の推進方法

地域主体の推進展開

地域づくり計画を着実に実現するために、住民ひとり一人が主体的に参画し、活動するとともに、新たに地域主体の協働のまちづくりに努めます。

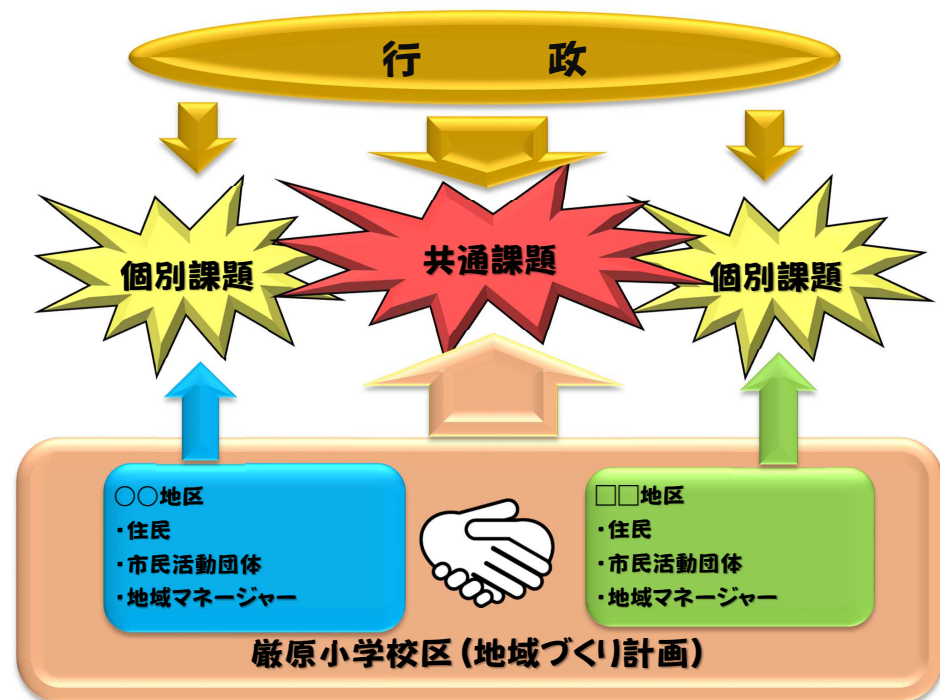
住民の理解と協力

区長、役員等だけでなく地域住民がまちづくりに関心を持ち、地域の役割を正しく理解するよう、関係者が啓発や交流に取り組み、協働のまちづくりの合意形成に努めます。

相互連携の強化

地域マネージャーは地区と行政の架け橋となるだけでなく、地区と地区の架け橋となるべく、各担当地区の地域マネージャーとの情報共有に努め、また地区住民も地区間の相互連携に努めます。

取り組みのイメージ図



7.おわりに

今日の私たちを取り巻く環境は急激に変化しています。

少子高齢化、核家族化が進行し、雇用の場を求める若年層の島外への流出が予想以上に増加しているため、人口減少が急速に進んでいます。

さらに、大型店舗が郊外に立地されるなどの影響により、厳原市街地の小売業等が相次いで廃業し、空き店舗や空き家が増加しているため、市街地の空洞化がますます進むことが心配されます。

このような現状を打破するには、これまで以上に私たちの活動がキーポイントとなるため、市民と行政が共通の目標を掲げた、協働のまちづくりの道しるべとなる「厳原小学校区地域づくり計画」を策定しました。

この計画を計画だけで終わらせないためには、計画からさらに一歩踏み出したまちづくりを実現することが必要となります。

「道路が完成した」、「公園が完成した」ことで終りではなく、「観光客が思わず足を止めるような、魅力的な沿道の街並みをつくる」、「住民がいつでも気持ち良く利用できるよう、ゴミひとつない綺麗な公園を維持する」など、継続的な取り組みをしていくことが重要です。

市民や市民活動団体、そして行政の協働で継続的なまちづくりが進められることで、私たちのめざす～美しい「厳原城下町」を共に創り、共に歩く観光交流のまちづくり～が実現するものと考えます。